

アクセス・プレミアム・ボランティア——外来語と原語の意味の違い

日本語には片仮名によって表される夥しい数の外来語 (loanword) がありますが、外来語の中には原語とは意味が異なるものや、原語の意味の一部だけにしか対応していないものが多く、その原語の使用に当たっては一般に注意が必要です。以下では日常よく用いられる外来語とその原語を3組とり上げ、その意味用法を比較してみることにします。

アクセス／access

日本語の「アクセス」は「交通手段、交通の便」という意味で用いられることが多いですが、英語の名詞 **access** は「・・・に行く[・・・に入る、・・・を利用する、・・・を得る、・・・と会う]ことができる方法[機会、権利、こと]」という意味で、日本語の「アクセス」よりもずっと幅広く用いられます：

- (1) I got access to the library by showing my identity card. (*MWALED*)
(私は ID カードを見せて図書館に入ることができた)
- (2) About one-third of all households in the country do not have access to electricity.
(その国の約3分の1の世帯には電気が来ていない)
- (3) Many children in the developing world don't have access to proper health care.
(途上国にはちゃんとした医療を受けられない子どもたちがたくさんいる)
- (4) The organization is working to improve access to education and employment for people with disabilities. (その団体は障害のある人たちの教育・就職の機会を向上させるための活動をしている)
- (5) More investment is needed to improve access to water supply and sanitation in developing countries. (途上国における上下水道の整備には一層の投資が必要である)
- (6) His ex-partner denies him access to his children. (*COBUILD*)
(彼の前妻は彼に子どもと面会させるのを拒んでいる) (deny A B = A に B を与えない)

(3)(4)(5)のような場合の **access** については、日本語では「医療アクセス」「教育アクセス」「水道アクセス」などの複合的な表現で表すこともあります。

プレミアム／premium

日本語で最近よく聞かれる「プレミアム」は「(通常のものよりも) 高い品質・価値 (をもったもの)」といった意味で用いられていますが、英語の **premium** は名詞の場合、「(通常の額に付加される) 割増額、割増金」「(通常のものよりも) 高い額」という意味でよく用いられます(日本語でも、新築分譲マンションの価格の上乗せ分を「新築プレミアム」と言ったりしますが、それはこの意味です)：

- (7) You have to pay a high premium for express delivery. (*OALD⁹*)
(速達にする場合は高い割増料金がかかります)
- (8) Our customers are willing to pay a premium for a superior product. (*CDAE*)
(当店のお客様は少々高くても質のよい品をお求めになられます)
(be willing to ... = ...するのをいとわない、...してもいいと思っている、...することに応じる意志がある)
- (9) Meat labelled "Kobe Beef" sells for a premium in supermarkets.
(「神戸牛」のラベルが貼られた肉はスーパーで高値で売られている)

ボランティア／volunteer

日本語の「ボランティア」は「本人の自由意志により、ある活動が無償で行なうこと」の意味であり、英語の **volunteer** も基本的にそのような理解で間に合いそうな気がするかもしれませんが、英語の用法を見ると日本語とはやはりズレがあります。まず、次の動詞の用法を参照：

- (10) Michael volunteered the information before I had a chance to ask. (*LDCE⁹*)
(私が尋ねないうちに、マイケルは自分からそのことを私に知らせてくれた[教えてくれた])
- (11) You should not volunteer information about your criminal record. (ウェブ)
(聞かれもしないのに) 自分の犯罪歴[前科]について自分から知らせるべきではない)
- (12) While I was trying to start the car, several people in the crowd volunteered advice. (*PESD*)
(私が車を動かそうとして車が動かないので困っていたら、その場にいた数人の人が(進んで)アドバイスを申し出てくれた)
- (13) Several staff members volunteered for early retirement. (*OALD⁹*)
(何名かのスタッフが早期希望退職を申し出た)

これらの例からわかるように、動詞の **volunteer** は「自ら進んで[自発的に]・・・を提供する[何かをしようと言う[申し出る]]」という意味で用いることができます。そして、名詞の **volunteer** は「そのような行動をとる人」の意味で用いられます。次の例を参照：

- (14) The airline asked for volunteers to give up their seats.
(その航空会社は座席を譲ってくれる人を募った[誰か座席を譲ってくださる方はいませんかと言った])

英語に由来する片仮名語は他にも無数にありますが、日常的な語であればあるほど原語との意味用法の違いが大きいことが多いので、英語の体系の中で正しい使い方に習熟することが大切です。